

JOMF 派遣医師便り (2017. 7)

◆マニラ◆

フィリピン厚生省 (DOH) から “WILD” な、お知らせ

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

フィリピンは現在雨期です。夕方になると毎日のように雷を伴った大雨が降ります。道路は冠水し、汚染された水が道の上を流れていきます。

当地では雨期特有の病気が流行する時期です。これに伴い 2017 年 7 月 3 日、フィリピン厚生省 DOH から、DOH tells public to get ready on “WILD” disease というメッセージが出されました。

WILD の内容は次のようなものです。

- W: water-borne diseases—汚染された水などによる食中毒・下痢症⇒(対策)清潔な水を飲みましょう
- I: Influenza —インフルエンザなどの呼吸器疾患⇒(対策)ワクチンを接種しましょう
- L: Leptospirosis —レプトスピラ症⇒(対策)長靴をはき、下肢の外傷などに気を付けましょう
- D: Dengue fever —蚊の媒介によるデング熱、チクングンヤ熱、ジカ熱など⇒(対策)蚊に刺されないように注意しましょう

これらの病気を疑った場合には早めに受診をしてください!というお知らせでした。

なるほど、なるほど、その通りです。しかしその対策となると非常に困難なことばかりです。

清潔な水はどうやって手に入れるのでしょうか?

ワクチン代金はどう支払えばよいのでしょうか?

蚊はどうすれば防げるのでしょうか?

感染症蔓延は国全体、地域全体で対策を練らないと予防ができません。富裕層のみが対策を実行できたとしても公衆衛生的予防にはつながりません。

スローガン “WILD” が実際に実を結ぶように我々皆が考えていかななくてはなりません。